4〜7月の主な行事風景

改修され
新しくなった
学校正門

contents

巻頭言 .......................... 02
新入生の声 .......................... 03
教職員の異動
学生相談室から ...................... 04
カウンセラーだより
国際交流レポート .......................... 05
新規導入設備／学生の活躍 .............. 06
留学生紹介
学生会から .......................... 07
クラブ・同好会紹介
各種競技会などの結果
図書館だより .......................... 08

information

☆入試広報 2014
☆平成26年度 奈良高専 公開講座
☆奈良国立博物館「キャンパスメンバーズ」情報
☆春の叙勲
☆学生課窓口のご案内
☆行事予定（9月〜11月）
「かわいい子には…」

松井 良明

奈良工業高等専門学校 教務主事

「ダプリンへようこそ。でも地図も持たずに何しに来たの？」
運転席のキャリルは詫（いぶか）しげにそう言った。
「アイルランドのスポーツに興味があるんです。」
それを聞いた彼女は目を光らせてこう言った。
「最近の子どもは家でゲームばかり。うちの子もそう。子どもはもっと外で遊ぶべきだね。」
「サッカー、ラグビー、バスケットボール、どれも似て非なる競技だったからだ。
「アイルランドの女性は強いんですよね。」
「そう。アイルランドの女性は強いよ。」

気がつけば、タクシーはダプリンの中心部に入っていった。

「さあ着いたわ。あそこがUCC（ユニバーシティ・カレッジ・ダプリン校）よ。ケルズの書、楽しんできて。この地図を貸すわ。帰ったらホテルのフロントに預けておいて。」

キャリルはそのまま歩いて行かせたまま知らぬ日

人が終わる地方で、警備を受ける日

がもってこい、就職を待つ日

彼女は рассказал

かわいい子には

モナハン・カウンティ・ミュージアムにて（2008年8月22日）

短い時間で仕事を効率よく済ませることは現在の人口と
の協力が欠かせない。たとえば、1枚のスポーツ絵
画の在席を確かめようと北アイルランドとの国境に近
いモナハンという小さな町を訪れたときのこと。初め
て言った観光案内所では、きなり驚かれた。彼女が
その案内所に来た初の日本人だということである。この
町に行ったのは、そこにある博物館が壁打ちのハンド
ボールを撮った18世紀末の水彩画を所蔵しているのを
知ったからだ。ところがその絵は展示されていなかった。
改めて入口にいた職員にその絵のことを聞いてみた。
しばらくすると、彼女はその絵をどこかから探し出して
きてきた。彼女の名はテレサ。私と日本人に
行ったときの様子を懐かししく話してくれた。

これまでにも訪問したスポーツ博物館のなかでもっと
も印象に残っているのがダプリンにあるGAA博物館で
ある。GAAは「ゲリーク・アスレティック・アソシエ
ーション」の略で、「ゲリーク」とはアイルランド
全島で最も人気のあるスポーツで、当面の疑問を
すすめるために、ダプリンのアイルランド自説のスポ
ツを創出した国体である。最初にふれたゲリーク・フット
ボールもその一つだ。

この博物館では人気のなかったのが「血の日曜日」
の展示である。1920年11月21日に、ダプリンのクロー
ク・バーク競技場ではゲリーク・フットボールの試
合が行われていた。そこに英国の駐留部隊が乱入し、
銃を乱射。競技場にいた14人が死亡し、約100人が
負傷した。死者にはマイケル・ホーガンという選手も1
名含まれていた。アイルランド独立戦争中の惨劇で
あり、アイルランドでこの事件を知らない人はいない
という。

「かわいい子には賜料をさせよ」ということわざがあ
る。苦労も多いく、時に生きるように触れる機
会にも恵まれる。そんなとき、多くの人が自分たち
にやさしくしたいと思うだろう。要は人の痛みに敏
感になること。それには相手の歴史を知り、心の奥底
に配慮する必要がある。わたしはそのことを旅どこ
で出会った友人たちから学んだと思っている。

モナハン・カウンティ・ミュージアムにて（2008年8月22日）
新入生の声
4月7日の入学式から4ヶ月が経とうとしています。
新入生の皆さんに学校行事などに参加した感想を聞いてみた。

●入学式 4月7日
電気制御工学科1年 大倉 慎稀

入学式の感想（言葉を務めて）
僕は懸れていた奈良高専にいることができ、その入学式という場で新入生代表挨拶を行えたことを悔しがっています。しか
し、これで終わりとは思っていません。次は日本の代表となるように、これからの高専生活の中でたくさんのことを学び、技術を身につけられるようにがんばっていきたいと思っています。

●新入生オリエンテーション 4月8日-9日
機械工学科1年 伊東 聡

新入生オリエンテーションで一番印象に残ったことは、やはり、我々はもう「学生ではなく、学生である」ということです。勉
強に対して積極的に取り組むことは学生として当たり前であり、我々は自立する必要があると感じました。全体の印象として、先
生方が非常に熱心に話されている様を眺め、これで高専生活を
有意義に過ごさせると安心しました。

●春季ハイキング 4月18日
情報工学科1年 相曾 結

僕は今年、初めてハイキングに参加しました。足元が不安定な状態で、初めて何という所歩き方か分からないでした。しか
し、それでもうまく立ち上がることができ、決行されました。足元は悪く、チュンクアシンゴは下がらなかったです。歩き始めると同じク
ラスの生徒が話をしてくれました。僕は、未熟なものですが、とてもうれ
しくて、歩きながらずっと話していると、気がついてしまいました。

始当初は乗り気でなかったのですが、終わってみると、有意義なイベントと
なりました。この時話しかけてくれた生徒が、今では
一番の友達です。

●春季スポーツ大会 5月22日
電気工学科1年 峯島 基

楽しみにしていたスポーツ大会が始まりました。快晴でとてもうれしかったです。執
行部の仕事で準備や審判に当たって忙しかったのですが、僕はリレーとバスケットに参加しました。リレーで二位を受け取
ったときのメンバーの顔が目に焼きついています。様々な競技を通じてクラスが
結集できたかなと思っています。

●クラブ活動
物質化学工学科1年 猪ノ河 一貴

僕の所属しているソフトテニス部では、社会の一員として自分を成長させて
いこうと思います。
まずは、基本的なこととして、あいさつはきちんと教えること。
また、初めての試合は、一年の仕事を先
導されていても注意を払って指導してく
たかったので、今では周りの人への気配りができるようになりました。

このように社会に出ても恥をかかない
人間に育ててくださる先輩方の下でこれからも頑張っていきたいです。

教職員の異動

■定年退職（3/29）(4/1本校に再雇用)
一般教科特任教授 大矢 良治
技術支援室技術職員 市原 雄司

■定年退職（3/31）
技術支援室技術職員 大西 康幸

■退 職（3/31）
総務課主任 岩口 透
総務課長（3/31）(4/1国立大学法人等に採用)
総務課事務係長 北村 駿
総務課一般職員 奥田 知行

■再雇用終了（3/31）
一般教科特任教授 荒金 慎一

■雇用期間満了（3/31）
電気工学科時間教授 上田 韓
電気工学科時間教授 山田 一雄
電気工学科時間教授 大崎千代

■総務課事務係
近藤 祥子
学生課事務係 本村 輝
技術支援係 木村 和実

■採 用（4/1）
学生課事務係 木村 輝

■採 用（4/1）
ことぎの教科 効 助 前田 晋豪
物質化学工学科助教 米田 吉明
物質化学工学科研究支援室 生本 裕子

■採 用（5/1）
学生課事務係 木村 輝

■採 用（5/31）
総務課

■採 用（7/1）
総務課事務係

■準定員
情報工学科教員 大崎美和代
学生相談室について
～ほんの少し勇気を出して～

学生相談室は、あなたの為良い生活を、主に心理面から個別に援助するため、カウンセラーの相談室が相談相手となって、あなたの問題解決の協力をします。メールでも電話でも面接でも相談することができます。また、相談の内容によっては、より適切と思われる他の窓口や機関なども案内します。プライバシーは守られますので、どのような問題でも、まずは遠慮なく相談してみてください。

○利用案内
相談は面談・電話・メールでお受けします。カウンセラーとの面談予約は学生相談室・保健室または学生系(0743-55-6034)で受け付けています。匿名でも構いません。

<table>
<thead>
<tr>
<th>曜日・時間</th>
<th>担当者</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>火・木曜日 14時～17時</td>
<td>長田 夏子 先生(臨床心理士)</td>
<td>カウンセリングは予約制ですが、緊急時は可能な限り、その場で相談に応じます。</td>
</tr>
<tr>
<td>水曜日 13時～17時</td>
<td>木村 健先生 (特別相談員)</td>
<td>予約は不要です。</td>
</tr>
<tr>
<td>月・火曜日 午後</td>
<td>学生相談員</td>
<td>上記の学生相談員が輪番で担当します。予約は不要です。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

○学生相談室の場所

カウンセラーだより

『よくならそうなる力』

今年度より学生相談室のカウンセラーとなりました長田夏子と申します。よろしくお願いいたします。今回初めての機会となりますので、私の好きな「よくならそうなる力」についてご紹介させていただきたいと思います。

人には生まれながらに「よくならそうなる力」が備わっていると言われています。ちょっとした切手が気付くと治っているような体の怪我のときだけではなく、風邪をひいた時に発熱が出るのは体内に入ったウィルスに打ち勝とうとする力であるし、咳などの症状も体の外によくないものを押し出すようとする働きであるといわれています。今ある状態が不快である時、よい状態に治ろうとする力で人は生まれてきているのです。それを自分で治す力といいます。みなさんも、きっと感じたことがありますよね。

ところが、この治療力がうまく働かなくなってしまうことも時にはあります。そんなときは本来持つ力を発揮させるためにお茶を飲みたり治療を受けたりして、治癒力を高めるサポートが必要となっています。これは体だけでなく心も同じです。自分ひとりで治すことはもちろんですが、周りの人たちの声が掛かると、自分が何をすべきか考えて、気分が切り替わります。自分でない他の人がと交流を支えて、人の本来持つ「よくならそうなる力」が働き始めることもあります。

カウンセリングでは「よくならそうなる力」がその人によい行動を起こさせ、支えていけたらと考えています。もちろんそれだけでなく、自分の内にある秘めた可能性を見つけ、学生相談室へいらしてくださいね。
国際交流レポート

2013年度国際交流派遣プログラム（台湾）

化学工学専攻1年 北口雄也

2014年3月23日～26日の4日間、機械制御工学専攻生3名、電子情報工学専攻生5名、化学工学専攻2名、合計10人の専攻科生と引率教員3名で、台湾の国立勤業科技大学と国立台北科技大学を訪問しました。この台湾交流派遣プログラムは、国立勤業科技大学と奈良高専が交流協定を結んで実現した初めての試みでした。

台湾到着後、すぐに国立勤業科技大学の学生と合流しました。大学へ向かうバスの中で、お互いに自己紹介を行い、その日の晩に台中の夜市を観光しました。2日目は代表者によるお互いの学校紹介した後、専攻ごとに分かれて互いの研究発表をおこないました。引き続いて様々な話題について談笑した後、各研究室を案内してもらいました。国立大学の分析機器は種類多様で、私が知らない機器も多数あり、いずれも整理整頓や掃除が行き届いていました。3日目は共同実験を行い、化学科ではフォトエッチングで銅板に絵を書きました。最終日は、国立台北科技大学でキャンパス見学、お互いの学校の学科紹介、研究発表を行ってから帰途につきました。

台湾の学生は個性豊かで、独学で日本語を勉強した学生、AKB48が好きな学生、英語を流暢に使いこなす学生。英語が苦手でもボディランゲージで笑顔を見せきさぎそんな学生など、様々な学生がいました。また、みな私の話す英語でも真摯に耳を傾けてくれて、明るく交流できたと感じました。

台湾の街並みも印象的でした。建物はあまり日本とは変わりないのですが、明らかに違うのは原動機付自転車の数で、大通りのほとんどのがバイクで埋めつくされていました。他にも地下鉄のチケットはコインが使われており、日本との違いを感じました。一方で、日本の企業や文化をたくさん見かけることができました。たとえば、通りで見かけるバイクは、YAMAHA製ばかりでしたし、日本の漫画書店もありました。

あっという間の4日間でしたが、この台湾留学プログラムを通じて、少し英語が身近に感じられるようになりました。プレゼンテーションや日常会話で話が通じていることも実感できました。しかし、時に伝えたいことがうまく英語で表現できず、悔しい思いもしました。これらの経験から、日本帰国後、英会話習得に力を入れて勉強しています。もう少し英語を知っていればと感じた経験が英語習得への原動力になっています。

後輩達にも国際交流派遣プログラムの機会があるなら、是非参加をしてほしいと強く思います。すこしでも英会話に親しみを持ち日本学生と外国人学生のコミュニケーションの違いを体験で感じることで、これからの人生で、国際交流派遣プログラムがひとつのターニングポイントになってほしいです。

最後に、交流の機会を与えてくださった奈良高専、国立勤業科技大学、国立台北科技大学の先生方、引率の早川先生、上野先生、山田先生に厚くお礼申し上げます。
新規導入設備

機械工学科新規導入設備の紹介

機械工学科では、サーボプレス、低速風洞、熱工学実験装置およびレーザ測微鏡の4つの施設設備が導入（または更新）されました。なお、高専設立時に導入されて以来使われ、老朽化が進んでいたものもありましたが、更新されて良かったと思っています。今後、これにより、機械工学科の研究分野に特に、精密加工業、流体工学、熟工学、および精密加工業における研究や、体験学習などの推し、さらには外部との共同研究などで貢献するものと期待しております。

電子制御工学科新規導入設備の紹介

電子制御工学科では、第1学年から第4学年の各学年における自律型ロボット開発を含めた、6段階課題解決型の教育課程を実施しています。この教育プログラムの実施のため、低学年の学生には既存の部品によりロボット開発ができる。高学年の学生には3次元CAD（コンピュータ支援設計）や3次元プリンターをもとにして独自部品によりロボット開発ができる（ロボット設計教育支援システム）を導入しました。さらに、「オムニホイール型自律走行ロボット」、「多軸旋回ロボットアーム制御実験システム」、「ジャイロ式モーションキャプチャシステム」、「熟流体可視化実験システム」を導入し、各システムを活用した発展的な教育・研究に取り組んでいます。

情報工学科新規導入設備の紹介

研究機器として、生体センシング・インタフェースシステムが導入されました。このシステムは、人間の頭脳や脳血流、視線移動などを計測するための装置です。コンピュータの新しい操作方法の開発や、利用者の感情分析、熟練者間の行動計測などを利用します。次に、新カリキュラムに対応するために、情報工学実験室に生体検査室の実施を行い、機能を改善、成長しました。これらに伴い、情報工学科内のe-Learningシステムも新設しました。

実習工場新規導入設備の紹介

実験教室で使用する炉と乾燥機の更新しました。乾燥機は塑性加工とされる加工法の一つで、熱で材料の内部を構造を変える操作です。製品を乾燥させ、製品を完成させます。近い将来では管理職輪が刃物を作る作業になります。この新しい乾燥機は、ワイヤー送電加工機や曲げ加工機等を導入しました。また、乾燥機は、もう一度目撃されるのが、実習工場で毎日目撃されるのではなく、新しいものとなります。

学生の活躍

日本機械学会関西学生会会長賞受賞

この度、専攻科機械制御工学科入試2年の上田、開、野村、村上、藤巻は日本機械学会関西支部より2013年度日本機械学会関西学生会会長賞を頂きました。奈良高専として4年連続の受賞となります。関西学生会は関西の大学の機械工学科に所属する有志の学生により運営されている団体で、私達は関西学生会の一員として他大学の学生および彼等と研究発表会の企画、運営やコミライフの世界展などのイベントの運営に携わりました。そして、私達はこのような活動を活動して自分たちの視野を広げることができました。関西学生会での活動は終わりましたが、これからも自分の視野を広げるように積極的に参加していきたいと思います。

留学生紹介

マレーシア

物理化学工学科3年 ハイカル君
HIQAL BIN RAHMAD

Q1. 魅力・特色は何ですか?

Q2. 初めて来た日本語は何ですか?

Q3. 奈良斎場で学ぶことの資格を教えたお知らせ。

Q4. お国名欄をお願いします。

Q1. 魅力・特色は何ですか?

Q2. 初めて来た日本語は何ですか?

Q3. 奈良斎場で学ぶことの資格を教えたお知らせ。

Q4. お国名欄をお願いします。

トレーニングする。

新エネルギー源を研究したいと

マレーシア

電気工学科3年 ヒルミ君
HILMI ZIKRI BIN SALEHUDDIN

トレーニングする。

新エネルギー源を研究したいと

06 SUMMER 2014 CAMPUS
学生会から

電子制御工学科4年 松浦弘泰

みなさんがこんにちは、学生会会長の松浦弘泰です。井原学園高専の学生会に参画する学生会活動に関しましては、必ずしも新入生でも気軽に参加いただけるよう、本稿にて多少の紹介を行います。

夏休みに行われるクラブ活動は、その経験を活かして新入生に参加を呼びかけるため、各部に参加を希望する生徒が集まる。特に新入生が参加するよう、各部の詳細を紹介しています。

クラブ・同好会紹介

クラブの種類は、ハンブガーポーク・音楽部・ソフトテニス部・テニス部・バスケットボール部・バドミントン部・野球部・サッカー部・排球部・声楽部・吹奏楽部・美術部・伝統芸能部、等々、多岐にわたっています。

音楽部

代表顧問 武田充啓

音楽部の活動内容は、音楽鑑賞会、音楽コンサート、音楽祭、音楽部演奏会、音楽部練習会、等々、音楽に関する全ての活動が行われています。

ハンドボール部

物質化学工学科2年 木村奈香・河瀬雅

ハンドボール部の活動内容は、ハンドボール部練習会、ハンドボール部試合、ハンドボール部大会、等々、音楽に関する全ての活動が行われています。

各種競技会 などの結果

第4回 電気工学科4年 池田裕一君
第5回 物質化学工学科4年 村田祐輔君

第6回 大和郡山市市民体育会 変数・ダブルス 男子一般部
第3位 電気工学科4年 井上本平君・物質化学工学科4年 中澤廣宣君

第6回 大和郡山市市民体育会 弓道 青年の部 18歳以下
第3位 電気工学科4年 池田裕一君
平成25年度 奈良高専メディアコンペティション

近年、奈良高専では学生チャレンジプロジェクトやロボコン、プロコンなど、『学生の主体的な活動』の機会が増えています。しかし、これらの活動の相互的な意見交換の場や、その結果を長期展示・保存する機会は多くはありませんでした。

そこで、情報メディア運営委員会では、高専祭にあわせて『奈良高専メディアコンペティション』を実施し、学生の自発的な取り組みの意見交換の場を設けています。終了後、図書館入口付近への展示や、図書館アーカイブによる長期の保存を試みています。
情報メディア教育センター運営委員会からのご報告

情報メディア教育センター運営委員会では、「メディアリテラシーの向上」および「利用環境の充実と利用の促進」に重点を置いて活動しております。昨年度（平成25年度）の図書館と総合情報センターの活動をご報告致します。

図書館関係

図書館の活動費は学生会予算および後援会予算からも援助して頂いております。本校図書館の昨年度の利用実績は11ページのとおりです。毎年発行される「日本の図書館」によると、全国の高等教育図書館中、本校の貸出冊数は常に上位にあります。今後ともご支援をよろしくお願いします。

新入生オリエンテーション（4月）
充実した学生生活を送るためには「図書館の有効利用」が欠かせません。そのため、新入生を対象に、4月11日〜4月16日にかけて、放課後・休日を利用して行いました。

大規模会見室の開放（各定期試験時）
昨年度以降、新しい学習環境に適応するため、各試験期間前・試験期間中における大規模会見室の開放を行っています。

ブックハンティング（6月〜11月）
6月（第1回）と11月（第2回）の2回、図書館でブックハンティングを行いました。ブックハンティングとは、利用者の「手の本」を手に持つと、「図書館に導入したい本を実際に書庫で選ぶ」というイベントで、参加した学生は学生会・後援会より交通費を援助して頂いております。今回より開始時間は14時とし、約2時間程度を行いました。

第38回読書感想文コンクール（8月）
国語科の全国的な協働のもと、実施しました。全教員に参考図書および推薦文を依頼し、図書館からの推薦と合わせて31件が寄せられています。これらを「手引き」としてまとめ、学生に配布しました（7月）。12月に優秀賞、佳作を決定し、1月6日の昼休みに優秀者8名を校長室で表彰しました。

読書週間行事（11月）
11月7日〜22日に実施しました。テーマは「世界遺産に関する本」で、準備から後片付けまで学生図書委員が主体となって運営を行い、展示に使用した写真は読書週間終了後も図書館内に展示しています。本年度も11月初旬に実施する予定（テーマは未定）です。保護者の方も是非一度ご覧ください。

第18回クラス多読表彰・第4回個人多読表彰（1月）
12月委員会で貸出冊数が多いクラス（5クラス）および個人（10名）を確定し、1月6日（月）の昼休みに校長室で表彰を行いました。

総合情報センター関係
総合情報センターの活動費は後援会予算からも援助して頂いています。図書館と併せて、今後ともご支援をよろしくお願いします。

新入生オリエンテーション（4月）
4月当初に新入生のボランティアや情報処理研究会の協力を得て、放課後に実施しました。

各種発表会、コンテストへの出場（7月〜10月・2月）
平成25年度近畿地区高等学校情報処理教育連絡協議会が7月に群馬県で、キャリアコンテスト京都において開催され、本校からも教職員2名が参加しました。

10月に旭川市文化会館で開催された第24回プログラミングコンテスト（競技部門3名、課題部門5名）および2月に国立リビング記念青少年総合センターで開催された情報オリンピック（1名）に本校学生が積極的に参加しました。

システム更新（3月）
5年毎の更新を迎え、新システムの仕様策定及び導入を行いました。仕様策定にあたっては導入OS、アプリケーションソフトウェアに関するアンケート調査を行い、OSはWindows7としました。3月には全ての機種で同一環境を、メンテナンスの向上と共に演習室間の利用上の差を極力なくすようし、昨年のPCに合わせて、各演習室のプロジェクトタスクスクリーンを横長のものと取り替えました。これに合わせ、センターの情報処理演習室は床面のOAフロア化、補修も行いました。壁面の補修は次年度の検討事項とします。

利用マナー向上の啓発
演習室PCへのイラストなどは減ったものの、飲食物のゴミが散見される状態でしたので、飲食物持ち込み厳禁を徹底するよう利用者のマナー向上に向けて定期的に注意喚起を行うこととしました。

省エネルギーの取り組み
演習室のPC電源をこまめに落とすことで、省エネを行いました。
夏休み期間中の図書館・総合情報センターの利用について

◎図書館

- 休館日
- 日中開館日（8:30〜17:00）

◎総合情報センター

☆ 日中開館日（9:00〜17:00）

※（LL教室、マルチメディア演習室の開放はありません。）

平成26年度 第1回ブックハンティング

本校では恒例となった「ブックハンティング」を、平成26年6月21日（土）にンク堂大阪本店にて行いました。次回は11月です。

↑集合写真。今回は、学生31名、教職員15名の参加がありません。
←本を検索している様子。書店が広いので、探すのは一苦労です。

第39回読書感想文コンクールのご案内

次の要領で、今年度も読書感想文を募集します。
長い夏休み、余暇を十分に活用した力作を期待します。

- 対象図書：感想文用参考図書（図書館にコーナーを設置）その他興味を持った図書
- 字　数：所定の原稿用紙2枚以内　※できるだけ1枚半以上記述してください。
- 提出日：9月8日（月）
- 提出先：1・2年生はクラスで集めて国語科教員へ提出
    3年生以上は国語科教員または図書館へ提出
- 表　彰：優秀者10名程度を表彰の予定です。副賞として図書カードを贈ります。また、「図書館だより」にも掲載する予定です。
図書館利用実績

過去3年間の利用者数、分野別貸出冊数をまとめました。クラス別にみると、上級生が多く本を借りています。

過去3年間の利用者数

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>2011年度</th>
<th>2012年度</th>
<th>2013年度</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>開館日数(日)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>総日数</td>
<td>264</td>
<td>256</td>
<td>264</td>
</tr>
<tr>
<td>平日</td>
<td>228</td>
<td>223</td>
<td>232</td>
</tr>
<tr>
<td>土曜日</td>
<td>36</td>
<td>33</td>
<td>32</td>
</tr>
<tr>
<td>入館者数(人)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>総数</td>
<td>56,288</td>
<td>63,980</td>
<td>59,873</td>
</tr>
<tr>
<td>平日</td>
<td>53,734</td>
<td>59,777</td>
<td>56,900</td>
</tr>
<tr>
<td>土曜日</td>
<td>2,554</td>
<td>4,203</td>
<td>2,973</td>
</tr>
</tbody>
</table>

クラス別一人当貸出冊数（2013年4月～2014年3月） 合計冊数：16,447冊

情報検索講習会

本校図書館では、5年生・専攻科生の学生を対象とした「情報検索講習会」を行っています。教員からの依頼に基づき、研究室単位で電子ジャーナル等の論文検索について、図書館職員が1時間ほど説明を行います。

学生の皆さんには実際に図書館内情報検索用パソコンで論文検索を体感してもらっています。今年度は、5月に2つの研究室の学生に対して講習会を行いました。

論文等の情報は、Google等の検索エンジンで検索をすれば手に入ることもあるのですが、その情報が果たして正しいものであるのか、著作権的に問題はないのか、分かりません。必ず電子ジャーナル・データベースを利用することが重要です。

節電にご協力ください

以下の通り、今年度も節電にご協力ください。
1. PCのシャットダウン 使用後はシャットダウンしてください。
2. 空調、照明の節電 空調や照明は、必要最低限に努めています。
平成26年度奈良高専 公開講座

奈良国立博物館

春の叙情

学生課窓口のご案内

奈良国際大学

奈良文化祭

学生課窓口のご案内

奈良国際大学

奈良文化祭

学生課窓口のご案内

奈良国際大学

奈良文化祭

学生課窓口のご案内

奈良国際大学

奈良文化祭

学生課窓口のご案内

奈良国際大学

奈良文化祭

学生課窓口のご案内

奈良国際大学

奈良文化祭

学生課窓口のご案内

奈良国際大学

奈良文化祭

学生課窓口のご案内

奈良国際大学

奈良文化祭